

## 将来像に関連する論点等整理イメージ

現状指標データ等	指標から見えてくるもの (特徴や課題等)	課題	目指すべき方向	将来の姿(将来像)	「将来の姿(将来像)」を実現するための目標(仮)
<b>〇生活環境</b>					
①高い三世代同居率	全圏域中2位 北陸13.6%>全国6.6%	(1)親が孫の面倒をみることのできる環境、地域コミュニティの高さ、生活環境の充実			(若者から高齢者みんなが住みやすく、2代、3代と安心して住み続けられる、定住化環境整備) (安全・安心な移動空間の形成)
②地域コミュニティ参加意欲					
③幸福度が高い	福井県1位、富山県2位、石川県3位				
①高い有効求人倍率(企業(特に中小企業)にとっては人手不足)	全圏域中2位 北陸1.15>全国0.93	(2)女性の社会参加がしやすく共働きとなることによる子育てにも有利な経済的なゆとりとなる向上	(1)子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上		(女性の就業・起業や社会参加等就業環境のさらなる充実)
②正社員の有効求人倍率も高い	北陸1.07>全国0.85				
③身近にある雇用の場(女性の通勤時間の短い)	北陸往復40分程度				
④女性の社会参加比率	15~64歳女性の労働力率 北陸70%以上				
⑤女性の就業形態(正規の職員・従業員が多い)	15歳以上就業者のうち、雇用人の占める割合				
⑥共働き世帯比率(児童のいる世帯に対する共働き世帯の占める割合が高い)	北陸66.3%>全国50.6%				
⑦男性の家事等参加は改善途上	男性の家事・介護・育児の生活時間計 福井12位、富山28位、石川47位				
⑧「高い世帯収入	全圏域中3位				
⑨高い持ち家比率	全圏域中1位				
①保育所待機園児がほとんどいない幼稚園・保育園	待機児童0人	(3)教育等を含めた子育てしやすい社会環境の維持・向上		北陸の優れた子育てに有利な地域コミュニティや環境を活かした少子化への歯止め	(子育て支援の充実)
②優れた初等・中等教育	全国学力・学習調査全国トップクラス				
③全国平均や三大都市圏に比べて短い通勤時間(離住近接の確保)	各県 男性30分前後、女性20分以内(片道)				
④全国に先んじて実施されている企業を巻き込んだ子育て支援施策(例:石川県川北町)	ワークライフバランス企業の登録 他				
①核家族化の進展	核家族世帯数の伸率(S55比) 富山140.3% 石川144.6% 福井133.6% 全国135.3%	(4)少子化の進展を食い止める、優れた子育て環境の維持・向上			
②全国的には高い出生率も低下傾向	富山1.42 石川1.47 福井1.60 全国1.41				
①若年層(特に女性)の減少率の高さ	15~34歳の女性の人口の伸び 富山65.6% 石川72.8% 福井70.9% 全国77.8%	(2)少子化の進展及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実			(2)本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実
②圏外に流出した若年層のUターン率が低い	若年層の人口減				(UIJ ターンの促進)
③若い世代の移住者が少ない	全圏域で最下位	(5)若い世代の人口減少に歯止めをかける、優れた高等教育環境の向上			
④高等教育機関(大学等)の少なさ					
⑤国際学校の少なさ	北陸圏と四国圏でゼロ				
<b>〇自然環境</b>					
①風水害や土砂災害、豪雪等の対策	・1km2当たりの災害件数は全圏域で最も多い。	(6)厳しい自然環境への対応と、豊かな自然資産の活用			(災害に強い国土形成) (減災に資する体制の構築) (災害リスクの評価・共有と防災・減災対策の重点化) (災害時の応援体制と応急復旧体制の整備) (防災先進社会の形成) (原子力発電所の安全・安心の確保)
②豊富な自然資源	立山、白山、東尋坊 他				
①環境保全プロジェクトへの参加の低迷					
<b>〇地球環境</b>					
①一人当たり温室効果ガス算定排出量の増加	北陸11.8%>全国0.9%	(7)環境保全に対する人々の意識の向上			
②エネルギー起源CO2排出量の増加	北陸9.5t>全国8t		(3)厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上		(4)豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応
③リサイクル率の低下	北陸18.3%<全国20.4%				
④千人当たりエネルギー消費量の増加		(8)エネルギー開発等の更なる推進			
⑤環境負荷軽減、新たなエネルギー開発に向けた取組	福井県:EV・PHVタウン構想、石川県:石川版環境ISOの普及促進、富山県:農業用水を利用した小水力発電の推進				
<b>〇生活環境</b>					
①下水道普及率、人口1人当たり都市公園面積	〇下水道 北陸79.8%>全国77.0% 〇社会教育費 北陸19.6千円/人>全国12.3千円/人	(9)快適で安心できる居住環境の維持・向上		人口流出を接続する都市群で留めるとともに環境と共生した魅力ある居住機会や教育環境提供で人口誘致	(都市拠点機能の集約等コンパクト化と交通ネットワークを活用して職住近接など暮らしやすさを充実) (空き地空き家対策等人口減少下における環境にも優しい市街地再編) (優れた住環境の整備)
②人口1人当たり社会教育費・文教施設投資額	富山11位、石川7位、福井9位				
③温水洗浄便座の普及率が高い	北陸259.8人/10万>全国237.8人/10万				
④人口当たりの医師数が多い	北陸77.5%>全国76.8%				
⑤自主防災組織率が高い					
①都市部から半島や中山間地等への雇用、生活サービス、レクリエーション機会の提供	認定農業者、集落営農組織等の担い手の育成 他	(9)地方中核都市の接続や地域コミュニティがもたらす魅力ある暮らしの充実			(北陸新幹線や交通ネットワークの整備と活用による個性ある都市と農山漁村が共生する接続都市圏の暮らしやすさを充実)
②圏域内移動では、自動車依存度が高い	富山77.4%、石川70.6%、福井69.9%>全国46.5%				
③異なる都市個性を持つ都市間での交流とそれを支える交通ネットワーク					
④公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり	富山市				
⑤道の駅による地方拠点の形成					
⑥総合ライフ時間の増加					
①空き家の増加	〇空き家率 北陸13.9%>全国13.4%	(10)将来的な社会基盤施設の維持	(4)接続する都市群と半島や中山間地の共生		(インフラの長寿命化等対策などインフラマネジメントの構築)
②インフラ施設の老朽化					
①半島や中山間地等での人口減少					
②公共交通の利便性が低い	交通利便性満足度 全圏域中7位	(11)半島や中山間地等での過疎化の進展への対応			(安心とゆとりのある暮らしやすい農山漁村の形成) (中山間地等における生活サービス機能の集約化と利便性の高いネットワークの形成) (住みたい、移住したくなる二地域居住、定住化、UIJターン)
③限界集落の増加					

将来像に関連する論点等整理イメージ

現状指標データ等	指標から見えてくるもの (特徴や課題等)	課題	目指すべき方向	将来の姿(将来像)	「将来の姿(将来像)」を実現するための目標(仮)
<b>○産業集積</b> ①特徴ある産業や伝統産業の集積(富山の製菓・アルミ、石川の組立機械、福井の炭素繊維等) ②伝統産業の多さ ③多数の <b>世界ニッチトップ</b> 企業群(上記に加え繊維、眼鏡等) → トップ企業100選中北陸圏11社 ④製造品出荷額の多い都市の接続 ⑤高い進学率に支えられた高学歴な人材 → 北陸53.8% > 全国53.5% ⑥企画力・発想力と <b>異業種間交流</b> がもたらす時代のニーズやグローバル化への対応(鐘江のペーパーグラス、健康創造クラスター等) ⑦中小企業就業者数が減少から増加へ ⑧高い高齢者の就業率 ⑨移住者は製造業の関係者が多い ⑩高卒者の県内就職率が高い ⑪税制や電力料金の優遇 → 電力料金(北陸電力) 200~500kwh:1位、600kwh:2位	(1)特徴ある世界レベルの <b>産業の集積</b> や <b>人材、伝統産業</b> によって時代の変化に対応 (研究開発体制、担い手育成の強化、中高年のスキル人材としての活用)	(5)地理的優位性と北陸ブランド力を生かした産業・営農の強化	国内外の本社機能、製造拠点、食料供給機能等の集積により、太平洋ベルトを代替する <b>日本海側ベルトを形成</b> するとともに、太平洋側との連携を強化	2 競争力のある産業の育成 (北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化)	(1) <b>集積する同業種・異業種や高等教育機関の連携都市間での対流と交通・ITネットワーク環境の充実</b> (ライフサイエンス、高機能新素材、中小企業ネット、スキル人材) → (イノベーションの促進による活発な新産業の創出、産・学・研による加工製造の新技术の開発による付加価値化) (起業意欲にあふれる人材の育成・定着と誘致、ものづくりを継承する年齢・性別を問わない将来を視野に入れた様々な人材育成の確保) (新興国の海外市場の成長を見据えた陸海空のインフラを生かした海外展開)
①高い食料自給率 → 北陸62% > 全国39% ②北陸ブランドの構築に向けた様々な取組 → 奥能登ウェルカムプロジェクト 他 ③農業、林業生産額、国産材供給率で全国平均を下回り、漁業は全国平均並み ④農林水産業従事者数の減少と高齢化 ⑤耕作放棄地が少ない → 富山1.1%、石川5.2%、福井1.4% < 全国3.4% ⑥農業の流通 ⑦林業の成長産業化	(2)新規就農者の確保と食料供給力と地域ブランド力の更なる強化			3 日本海国土軸の強化と太平洋側との連携強化 (日本海沿岸地域との連携強化と太平洋側との連携強化)	(2)太平洋側及び海外企業等の <b>製造拠点・本社・研究機能の誘致推進</b> に向けた支援施策や立地ニーズに応えるPR強化 → 本社・研究機能等も含めた魅力ある雇用環境の充実(既出) → (きれいな水、安い電力と税金、良質な地下水、ICに近い優位性のPRの推進) (国内外からの企業や人材育成、誘致による地域産業の活性化) (世界トップシェアを誇る業界等の国際展示会や世界各地から研究者等を招いた学術交流、国際コンベンション誘致・開催の推進、体制づくり)
<b>○アクセス性</b> ①新幹線や高速道路等の交通体系 → 北陸新幹線、東海北陸自動車道、能越自動車道 ②関東・中部・近畿との仕事目的の交流 ③関東・中部・近畿との物流 ④北極海航路、パナマ運河拡張で欧米基幹航路において重要性を増す日本海 ⑤ユーラシアダイナミズムで注目されるロシア航路 ⑥主な輸出入先	(3) <b>三大都市圏</b> との地理的環境のより一層の活用 (4)ポテンシャルの高まる <b>国際物流環境</b> の充実			(2)日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する北陸	(3)圏域の食料供給力や、食の北陸としての地域ブランド力の更なる強化と担い手の確保 → (農林水産業に取り組み人材の確保・育成) (食料の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開) (バリューチェーンの構築による農林漁業の6次産業化等地域食品産業の活性化) (新たな木材需要の創出等による林業の成長産業化) (食のブランド化の推進) (食をテーマとした交流・観光の強化)
<b>○産業集積</b> ①東日本大震災での日本海国土軸の活躍や首都直下地震、南海トラフ地震の発生確率の高まりの中で、日本経済活動等の多重性・代替性を担う日本海側の役割の向上 ②東日本大震災以降の <b>生産拠点や本社機能の北陸への移転</b> 等増加 → 北陸の工業生産増加(H23.3対前年比伸び) 富山1位、石川6位、福井14位 ③企業立地ニーズに応える北陸 → 地方自治体の助成、誠意・積極性・迅速性 ④防災意識の高さ(企業BCPの策定の取組)	(5)太平洋側の広域的な <b>災害リスク</b> 等を契機として高まる産業立地の優位性の活用 (6)太平洋側の災害リスクの高まりに伴う <b>本社機能移転</b> などへの積極的対応			(1)市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化 → (道路・鉄道・港湾・空港と産業活動が連携した物流機能の強化) (国内外に展開する信頼性の高い国際物流・旅客機能の形成・強化) (海域・空域の安全確保・保安対策)	
<b>○歴史・文化</b> ①武家・宗教文化、多数の世界文化遺産登録候補地、能登や立山等を始めた自然や豊かな食や食文化、福井の恐竜等、 <b>個性ある多彩な観光資源や食文化</b> ②産業観光への取組 ③人口1人当たり国内観光宿泊者数の高さ → 全圏域中1位	(6)多様な観光資源、食文化、農業・産業資源を活かした、多数の観光誘客の促進			(1)多様な産業、歴史・食文化等に彩られた <b>地域資源の磨き上げ</b> と北陸圏内観光ツアールートの充実 → (自然・歴史・文化を活かした地域個性の構築と魅力ある観光地の形成) (伝統的な産業、自然・歴史に培われた暮らしの継承・発信と受入環境の充実) (北陸新幹線開業を契機とした国内外、隣接圏域との交流充実、広域観光充実) (体験型滞在の充実)	
<b>○国内外からの誘客</b> ①国内外からの誘客について、富山県、石川県が健闘 ②東海北陸自動車道開通による中部からの観光客の増加 ③航空便、乗降客数の増加 ④開通間近の北陸新幹線 → H27.3北陸新幹線 ⑤ <b>高齢者による観光需要の高まり</b> ⑥単独県で組まれる観光ツアー → ツアー商品の割合・単独県34.5% 北陸圏2県24.3%、北陸圏3県3.9%、北陸圏・隣接県37.4%(長野県、岐阜県が多い) ⑦外国人観光客受け入れへの取組 ⑧ロンリープラネットの魅力度4位 → (8)国際的に認められた北陸の魅力とその周知の向上	(7) <b>交通ネットワークや設備環境</b> 充実で、更なる拡充が見込まれる国内外観光客の更なる拡充 (8)国際的に認められた北陸の魅力とその周知の向上		三大都市圏等との <b>観光交流</b> や、第二ゴールデンルートとなる海外観光客の観光ルート形成	4 交流(対流)人口の創出 (北陸の地域文化力で育まれる国内外との交流の創出) → (交流に必要な交通基盤、社会基盤整備) (北陸新幹線やリニア中央新幹線の開業、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国内外に向けた周遊型観光プロモーション)	

